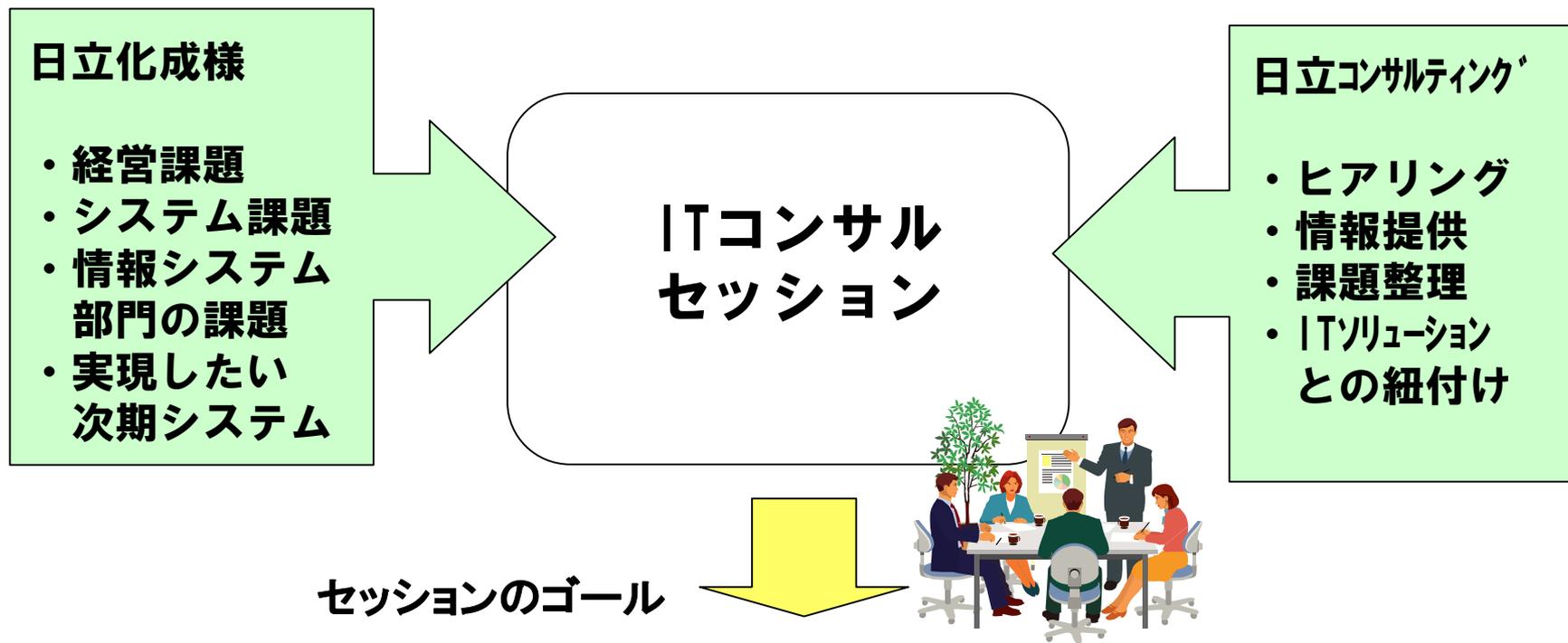


HITACHI Open Middleware World Cosminexus Day (2008年11月18日)

[CA-1]
対談－実践SOA
～日立化成工業様の取り組みとこれから～

対談： **日立化成工業株式会社**
理事 経営管理室長 兼 情報管理担当部長 菅 政之 氏

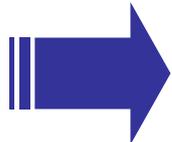
株式会社日立コンサルティング
テクニカルディレクター 小池 博



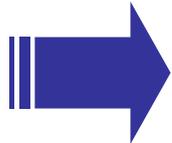
- (1) お客様の経営課題やシステム課題の整理（トップレベル整理）
- (2) お客様の課題に関連するITソリューションの概要のご理解
- (3) お客様課題を、ITソリューションで解決できるポイントを共有
- (4) 今後の進め方

日立化成殿の重点方針

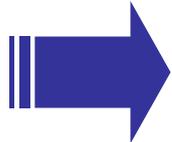
◎ お客様の変化するご要望に徹底追従



◎ ポスト業改(BPR)マネージメントの確立



◎ 変化対応のシステム基盤の整備



◎ 日立化成社員へのITサービス向上

◎日立化成様のシステム開発に関する取組み状況を、日立コンサルティングが考えます「システム中期計画の進め方」の軸上で整理しました。



Step	システム中期計画の進め方	日立化成様の取組み状況との関係
1	<input checked="" type="checkbox"/> 脱ホスト 最新実行環境への移行による運用コスト削減	◎業革分析に基づくオブジェクト分析後、Java-Webアプリケーションに集約 ◎バックオフィス系はERP導入
2	<input checked="" type="checkbox"/> 新ビジネス戦略実現のためのシステム基盤整備、及び、新サービスの提供	◎社内メッセージング基盤の整備とシステム間リアルタイム連携の実現 ◎Webポータル集約した業務サービス △応答速度改善によるサービス向上が課題 △ポスト業革に即応できるシステム基盤環境の整備
3	<input type="checkbox"/> ITガバナンスの実施 ・ITガバナンスの組織的取組み ・方法論やガイドの整備	△ポスト業革を見据え、BPRや保守へと関心事が向かわれていると考えます。 BPRや保守のためのITガバナンス整備を開始すべき段階にあると考えます。

日立化成様の 関心事項

ポスト業革
マネジメント

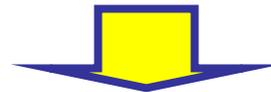
変化対応の
システム基盤

社員向けIT
サービス向上

①「ビジネスプロセスの
継続的改善体制」

②「応答速度改善への
戦略的取り組み」

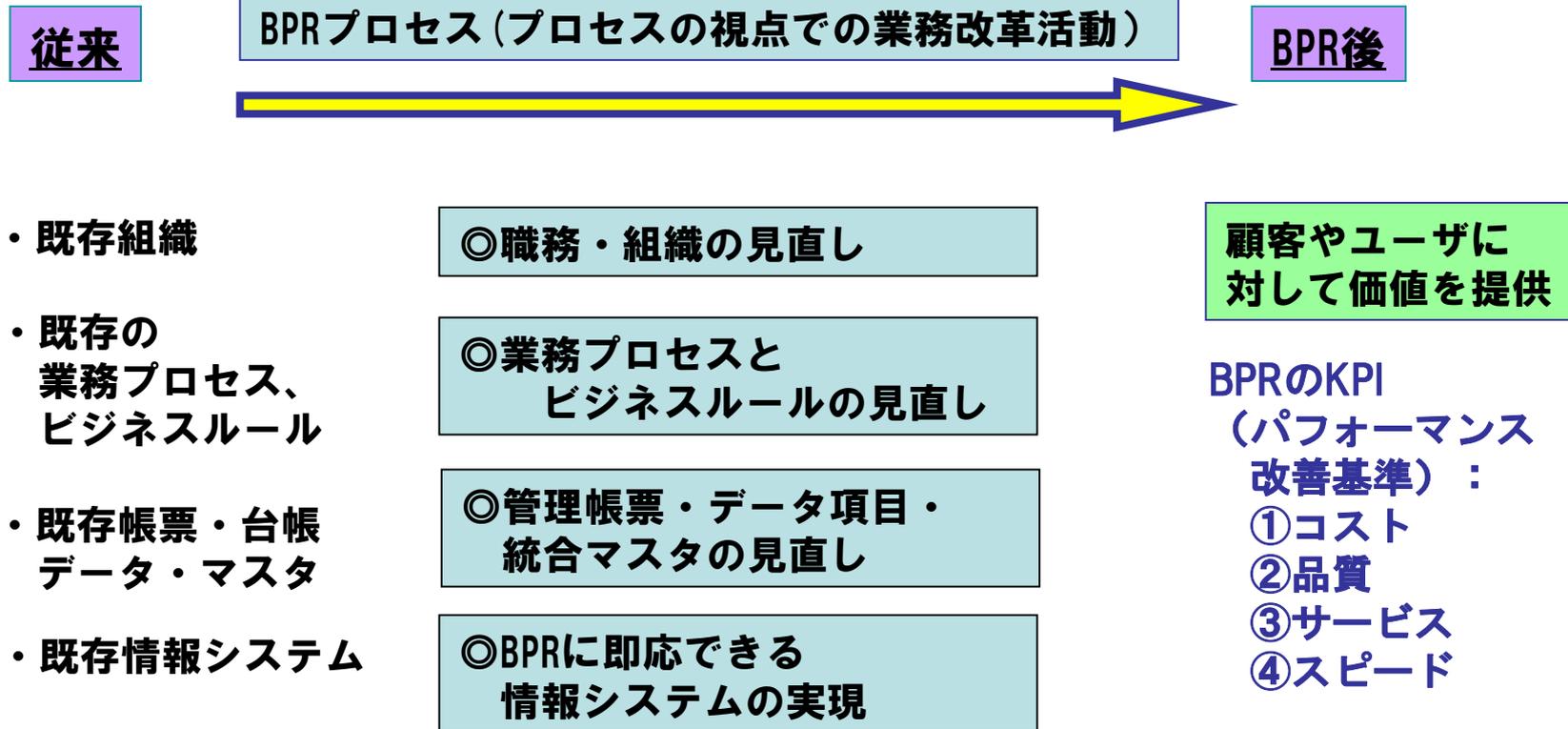
取組みポイントとソリューション



- ① BPR（業革）へ即応するBPベースのシステム基盤整備
⇒・SOAアーキテクチャ/SOAミドルウェアの活用
- ② ポスト業革を見すえたITガバナンス関連の整備
⇒・BPRやSOA型開発/保守等の方法論とガイドの整備
- ③ ポスト業革のための支援組織の立上げとトライアル
⇒・BPM組織の確立
・BPR & SOA開発のトライアル

BPM: ビジネスプロセスマネジメント

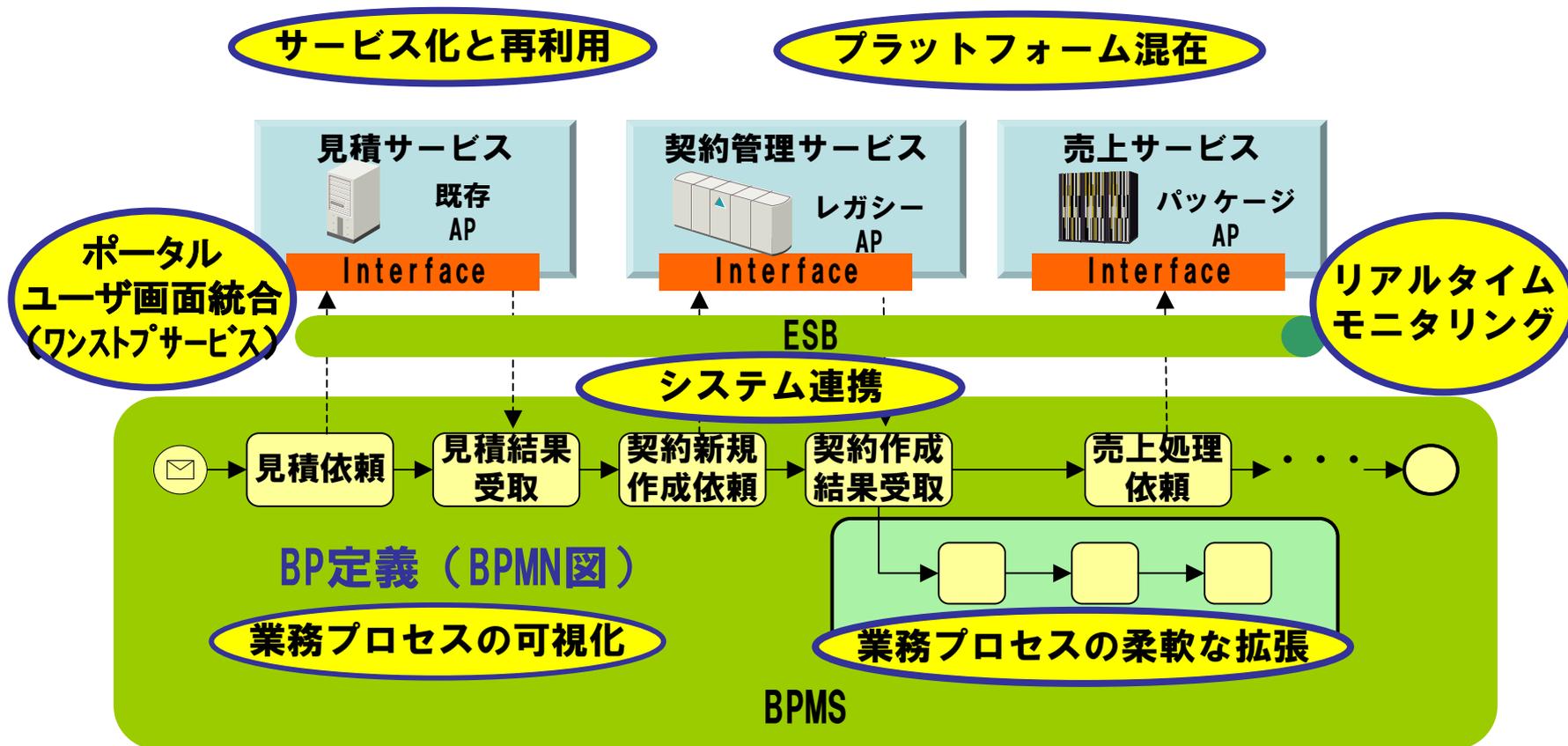
◎業革：BPR（ビジネスプロセス・リエンジニアリング）の進め方



◎サービス指向アーキテクチャ(SOA)の特長とBPRアプローチとの関係

BPRに即応できる情報システムの実現 ⇒ SOAの考え方が有効

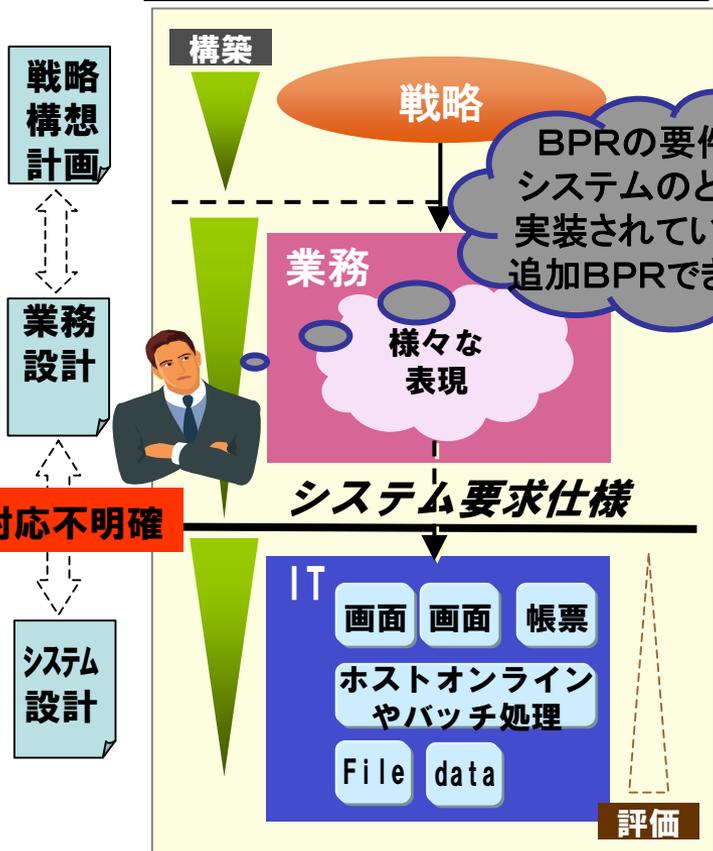
- ・「業務プロセス変化への即応、サービスの統合によるユーザ利便性向上」にSOAは有効。
- ・SOA型システム開発手法は、BPR手法との相性がよい。



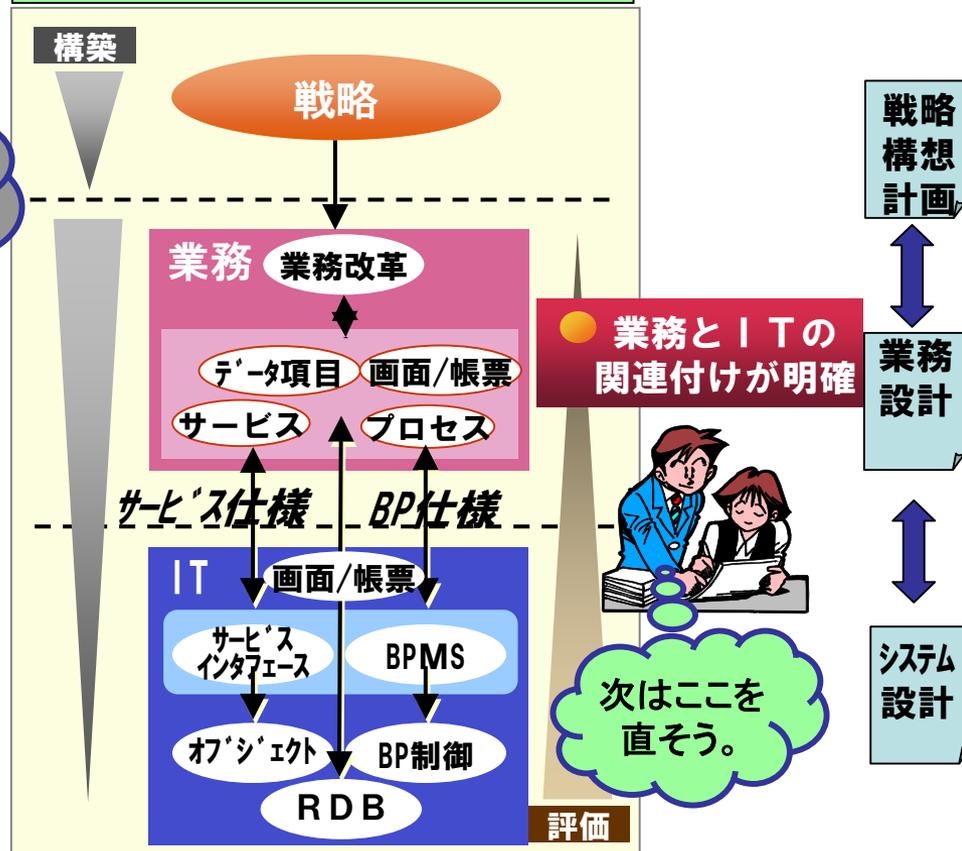
◎なぜ、今、BPRとSOAが注目されるのか？

- これまで、BPR部隊とシステム開発部隊が、共通に議論できる表現(設計書)が少なかった。
- SOAの考え方やその定義表現が、業務の方(BPR担当)にも分かりやすいものとなった。

従来のシステム設計と評価



SOA型のシステム設計と評価



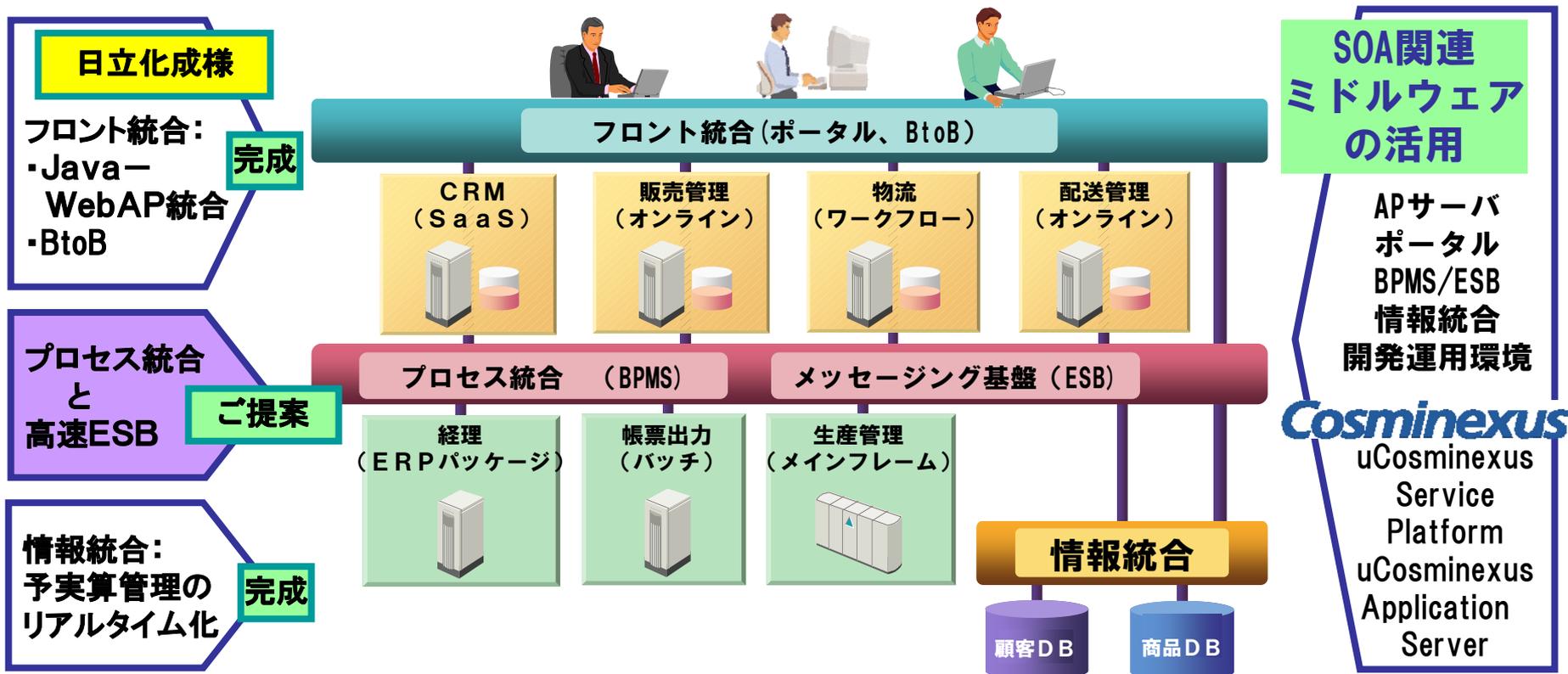
◎日立化成殿のこれまでのアプローチとSOAコンセプトとの関係

日立化成殿のこれまでの取り組み	広義のSOAコンセプトとの関係
<p>脱ホスト・オープン化、システム共通化 (オブジェクト指向設計、モジュール化)</p>	<p>⇒ モジュール化と再利用性が整備。 サービス化へつながるアプローチ。 ● 今後、SOA型開発方法論の整備が重要と考えます。</p>
<p>脱ホスト・オープン化、1画面化 (JAVA-Web-アプリケーションへ集約)</p>	<p>⇒ Webポータル統合が実現され、 使い勝手が向上している。 今後は、サービス統合へ。</p>
<p>受注→製造手配→予実算管理の リアルタイム化 (システム間リアルタイム・メッセージ ルーティングを実現)</p>	<p>⇒ システム連携ESBの1実装形態。 ● 今後、ESBミドルウェアの導入の 要否が判断ポイントと考えます。</p>
<p>「もの」と「情報」の全社同期 (予実算管理のリアルタイム化を実現)</p>	<p>⇒ ビジネスのリアルタイム・ モニタリングの考え。</p>

⇒ 日立化成殿の取り組みは、広義のSOAコンセプト実現の1形態と考えます。

◎SOA型システム基盤の整備と、SOAミドルウェアの活用

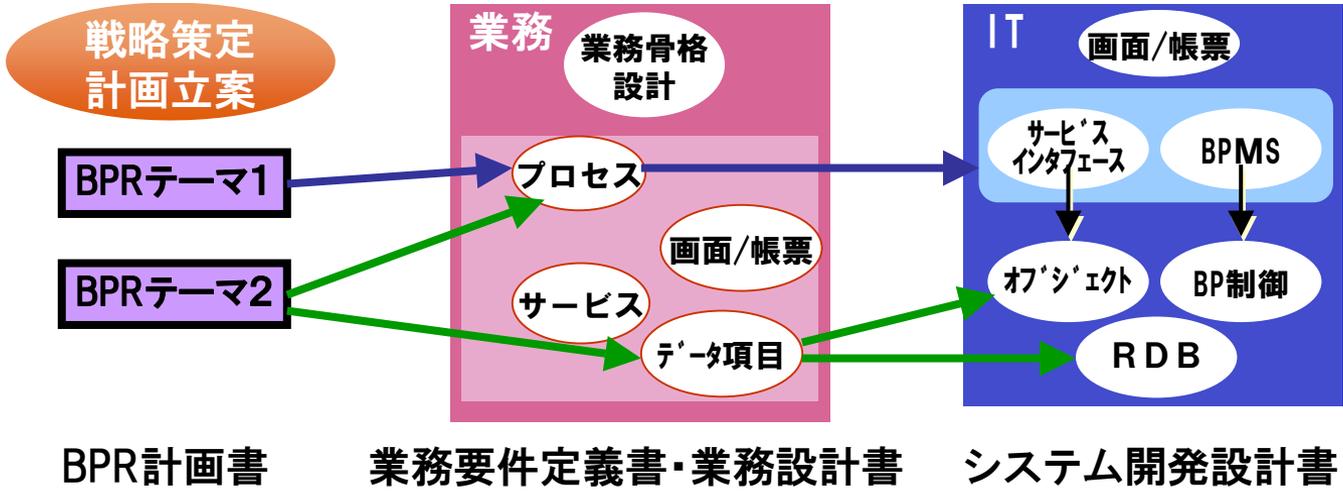
- Web-APに加え、「プロセス統合基盤」と「高速ESB」を整備することで、
 「フロント統合」 「プロセス統合」 「情報統合」 の3階層で統合の完成。
 ↑業務部門の満足度改善 ↑BP改革対応 ↑業務と経営に役立つBI環境
- SOAミドルウェア製品の活用 ⇒ 高信頼で効率のよい開発・実行環境の整備。



◎BPRやSOA型開発/保守のために方法論とガイドを整備する

	エンタープライズレベル		個別レベル			
	戦略策定	構想/計画	企画・分析	設計	開発・導入	運用・維持
経営	HIPLAN-SV					
業務	HIPLAN-MP	業務設計・BPR	HIPLAN-AP/AD	システム設計		
システム	HIActive-EA		HIPACE+SOAガイド		ITサービス運用ガイド	

日立が
保有する
各種方法論



BPRのテーマ別に
業務設計書や
システム設計書
の影響箇所が
分かるように、
ドキュメント体系
と設計方法論
を整備

◎BPRチームをサポートするBPMチームの組織化

- 企業プロセスに「戦略策定」「戦略実装」「戦略実行」「戦略評価」という管理サイクルを適応し、継続的なBRPを遂行しようという経営・業務改善・管理のコンセプトが「BPM (BPマネージメント)」です。
- BPR活動による「ポイントソリューションを検討・実現するBPRチーム」と「BPRチームをサポートするBPMチーム」の組織化をご提案します。

